

(別紙5)

補助事業番号 26-2-033
補助事業名 平成26年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 社会福祉法人日本点字図書館

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」の製作・配布により、視覚障害者の就業継続に必要な医療情報及び自立した生活を送る為に必要な生活情報を必要な時に入手することを可能にすることで、当事者及びその支援者にとって快適な生活を提供・支援することが目的である。

(2) 実施内容

視覚障害者で、就業継続にも役立つ医療を必要とする方、および日常生活に関する各種情報を得ることで視覚に障害がありながらも自立した生活を希望する方を対象に、録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」を発行し、毎月1回（平成26年4月より平成27年3月まで）全国の読者へ毎月1,200枚（年間14,400枚）および全国の点字図書館（82館）と療養施設（13カ所）へ毎月95枚（年間1,140枚）の配布を行った。また、視覚障害者情報総合ネットワークサービス「サピエ」に音声データをのせ、インターネットを介しても随時聴けるようにした。

完了報告URL：<http://www.nittento.or.jp/report/jka26.html>



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

パソコンを使える視覚障害者が増えてきたとは言え、実際には使用できない視覚障害者層が一定数あり、様々な情報を入手するために点字や録音になっているものを活用する状況にこの先も変化はありません。視覚障害者本人が、自由に使用できる媒体になっているものは十分に満たされている状況ではなく、その少なさは明らかであり、場合によっては、他者の手を借りなければ情報等を入手できない状況になることも少なくないのです。就労に役立つ医療情報や自身の健康に関すること、日常生活を送る上で参考となるような生活情報を得て、自立して安定した生活を送りたいという願いは、障害の有無に関わるものではなく、「医学研究」や「ホームライフ」という情報誌の存在は、視覚障害者の就労・自立に有益な情報を得る方法として非常に貴重なものとなっています。

更に提供方法の利点として、図書と違い、毎月定期的に発行されるため、新しい情報を即時的に提供することができる点、更に配布という形で提供しているため、利用者の手元に置いておく事が可能となり、本人が必要なときに必要な情報を素早く確認することができる点を挙げることができ、事業実施の効果は高いと言えます。

以上から、就労支援および自立支援のためのオリジナルコンテンツを提供する事業は多くの利用者から必要とされていると言えるでしょう。他にも同様のサービスがないことが課題ですが、それゆえ本事業を継続すべき価値があると考えられます。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 日本点字図書館(ニッポン テンジ トショカン)

住所： 〒169-8586

東京都新宿区高田馬場1-23-4

代表者： 理事長 田中 徹二(タナカ テツジ)

担当部署： 総務部総務課(ソウムブ ソウムカ)

担当者名： 成瀬 彩香(ナルセ アヤカ)

電話番号： 03-3209-0241

FAX： 03-3204-5641

E-mail: nitten@nittento.or.jp

URL: <http://www.nittento.or.jp/>